

# 遠藤 桂 Katsura ENDO

1958年生、箱根出身。

風景写真家の祖父・山田應水と営業写真家の父を持ち、写真と密接な関わりのある環境に育つ。自然と山を愛し、1979-80年21歳でヒマラヤ・アイランドピーク冬季登山遠征、帰国後初個展。写真家トシ・ワカバヤシ氏に師事し、広告撮影技術を学ぶ。

1991年写真事務所 OASIS を設立。

トヨタ自動車、三菱自動車、マツダ、住友 VISA カード VISA 誌、  
籾内佐斗司の世界・色心不二展（パリ三越エトワール美術館）、ミセス（文化出版局）、  
家庭画報（世界文化社）、サンローゼ赤坂（ホテルニューオータニ）、インペリアルプラザ（帝国ホテル）、  
籾内佐斗司 in 東大寺～太陽と華と～展（2002）、東山旧岸邸（2009）、坂本冬美カレンダー（2010、2011）、  
藝大 21 和楽の美（2012、2013）、大森暁生 月痕（2013）、東京駅 100 年の記憶 図録（2014）、  
日光東照宮宝物館（2015）、大観邸 - 画業と暮らしと交流（2019）、江戸東京博物館、高島屋、箱根町、  
小田急グループ、箱根登山鉄道等の撮影を手掛ける。

NHK 新日本風土記ポスター、歌舞伎座ポスター、テレビや雑誌等の各メディアに写真を提供。

ライフワークとして富士山を撮り続け、仏・パリで個展を開催（2003、2005、2008、2010、2013）、  
日南町美術館、池田記念美術館、安曇野東山包美術館、靖山画廊、三越、西武、大丸、高島屋、  
FCCJ（公益社団法人日本外国特派員協会）等、国内外で個展を多数開催。

2002年箱根写真美術館を設立、祖父の作品保存と展示、自身の富士山作品を常設展示するほか、  
国内外のアーティストの企画展や写真教室等を開催、写真を通じて世界との交流にも注力する。

1998年より20年間バンタンデザイン研究所で写真学科講師を務め、2008年パリ写真学校 Spéos  
にて特別講義を行うなど、後進の指導にもあたっている。

箱根風景シリーズの作品を発表し箱根全山カレンダーを制作（2016～）、近年では箱根フォト百選、  
箱根ジオパークフォトコンテスト、神奈川県観光協会フォトコンテスト、箱根登山鉄道、  
箱根観光船、箱根ロープウェー等のフォトコンテスト審査委員をつとめ、地元の発展にも貢献。

箱根写真美術館 館長

公益社団法人 日本広告写真家協会（APA）正会員

公益社団法人 日本外国特派員協会（FCCJ）プロフェッショナル会員

